

【2月13日はNISAの日】

新NISA制度をきっかけに日本国内株式投資を始めた個人投資家の約5割が「将来・老後の資産形成」を目的

暮らしと住まいを軸に事業を展開する株式会社ナック（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：吉村 寛）は、2月13日「NISAの日」に向けて、全国20代以上の男女342名を対象に「新NISA制度をきっかけに日本国内株式投資を始めた個人投資家の意識調査」を実施しました。

調査の結果、新NISAで国内株式投資を始めた人の約5割が「将来・老後の資産形成」を目的にしていることが示されました。投資額は「100～300万円未満」が最多で、「30～50万円未満」、「10万円未満」が続き、少額から一定額まで幅広い分布となりました。投資判断では「配当利回り」や「配当の有無」など、株式を保有することで得られるメリットを重視する回答が中心となりました。株主還元の目安は「配当利回り3%以上」が最多の31.3%となり、多くの個人投資家が一定の還元基準を持って銘柄選定を行っていることが分かりました。また、単元未満株の購入経験は48.8%と、少額分散投資の定着がうかがえる結果となりました。

調査サマリー



1 投資を始めたきっかけは「将来・老後の資産形成のため」が47.7%

非課税制度の拡充やインフレ・低金利も参加動機に

2 投資金額は「100～300万円未満」が28.4%

「100万円以上」の合計では48.6%と約半数におよぶ結果に

3 投資判断の決め手は「配当利回り」36.8%、「配当の有無」33.6%

保有することで得られるメリットを重視する傾向

4 求める株主還元の基準は「配当利回り3%以上」が31.3%

「配当と優待があること」も一定の支持を集め、明確な還元基準を持って銘柄選定を行っている

5 全体の48.8%が「単元未満株」の購入経験あり

6 単元未満株への投資比率は「30～40%以上」が28.1%

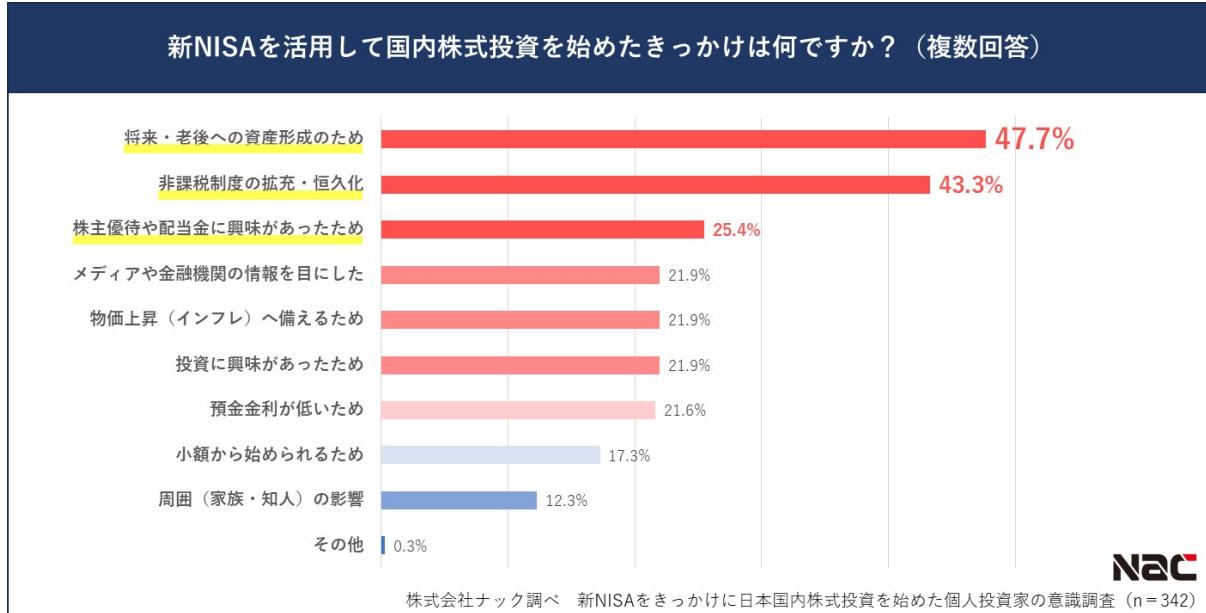
調査概要

- 調査名：新NISAをきっかけに日本国内株式投資を始めた個人投資家の意識調査
- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2026年2月6日
- 対象：全国20代以上の男女342人（性別・世代均等割付）

※調査結果をご紹介いただく際は、「株式会社ナック調べ」と注釈をご記載ください。

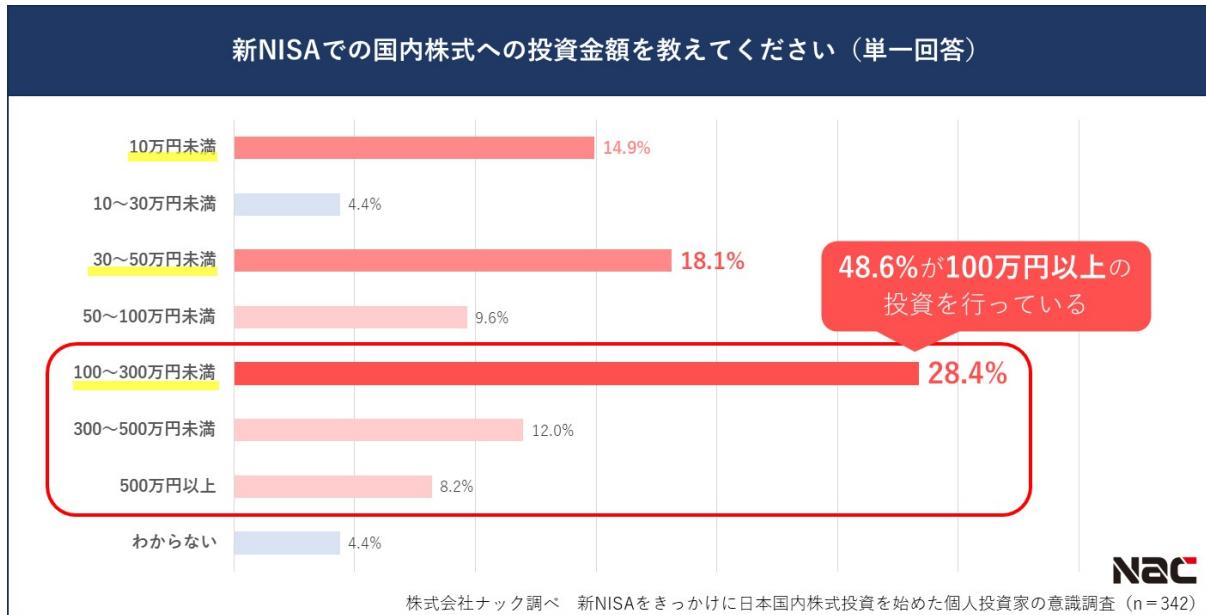
調査結果

1. 「将来・老後への資産形成のため」と回答した人が47.7%



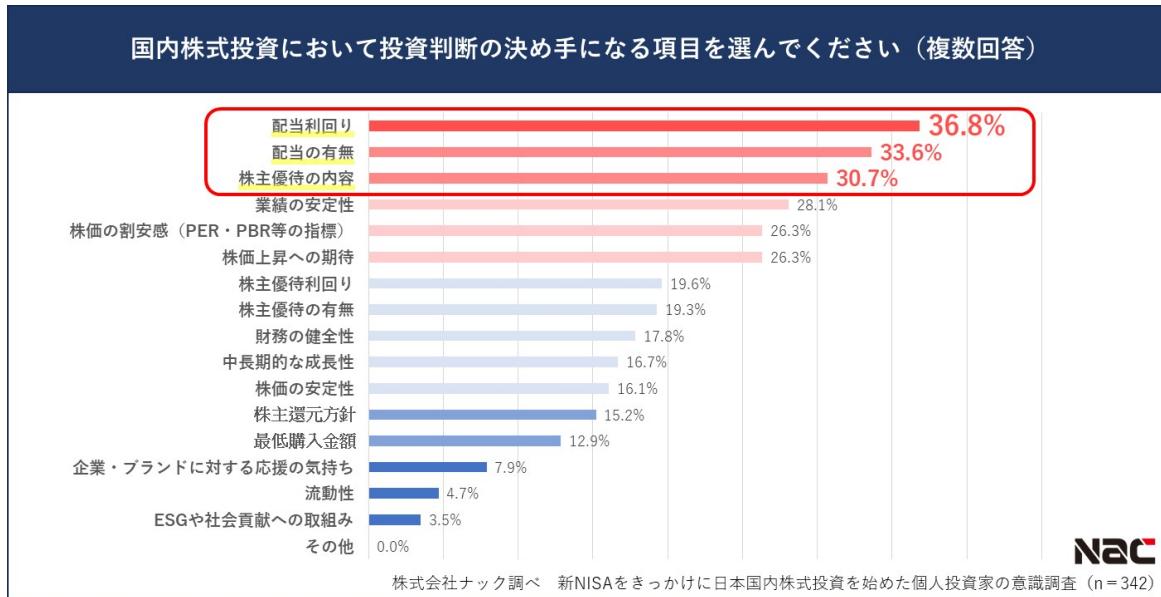
新NISAを活用して国内株式投資を始めたきっかけについて、「将来・老後への資産形成のため」と答えた人は47.7%となり、全体の約5割を占めました。次いで「非課税制度の恒久化」（43.3%）が続き、新NISAの制度改正そのものが投資を促進していることが分かります。

2. 新NISAでの国内株式への投資金額は「100～300万円」が28.4%で最多



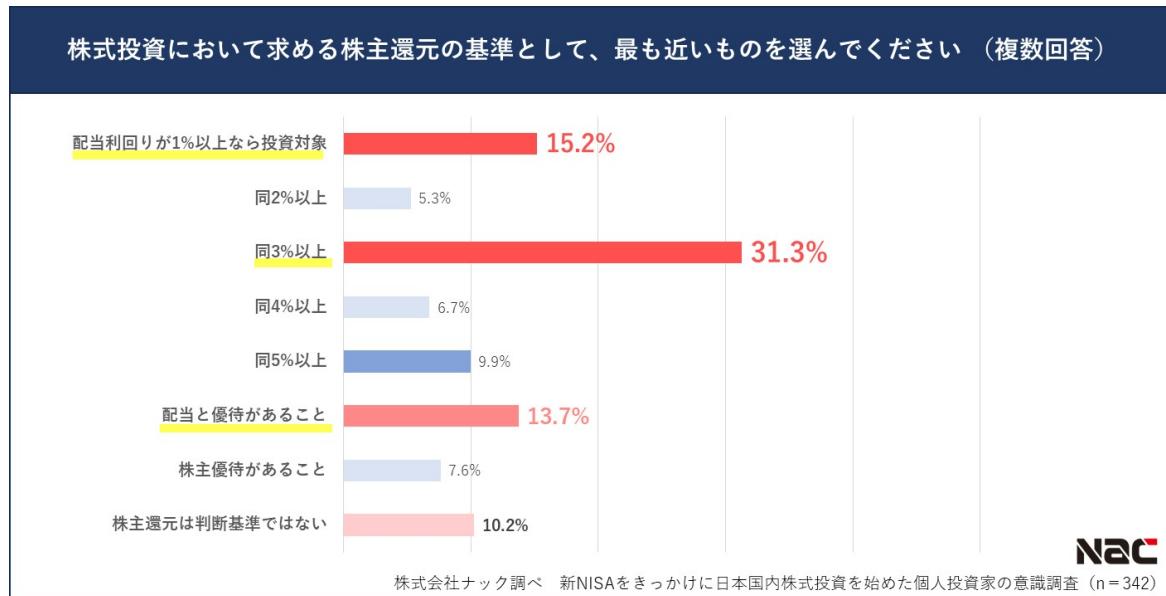
新NISAでの国内株式への投資金額を聞いたところ、全体では「100～300万円」が28.4%で1位となりました。次に「30～50万円」（18.1%）、「10万円未満」（14.9%）が続きました。一方で、「100万円以上」の合計では48.6%と約5割を占め、少額で投資を開始した層から比較的まとまった金額を投資する層まで幅広い分布となりました。

3.投資判断の決め手は「配当利回り」「配当の有無」「株主優待の内容」が各項目で30%以上と、株主還元を重視する傾向



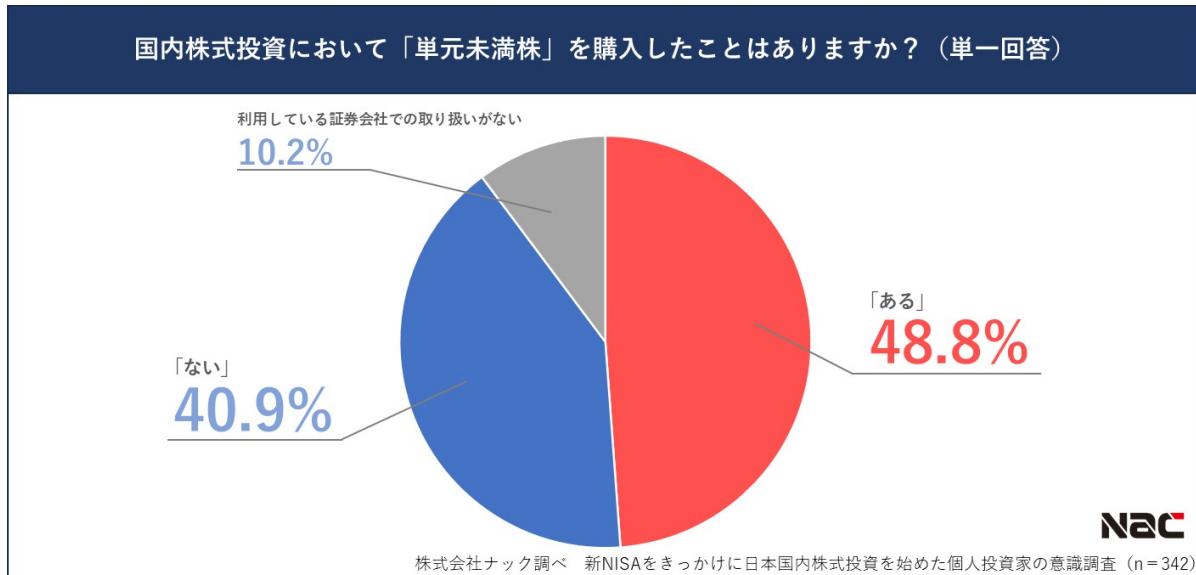
投資判断の決め手として最も多かったのは「配当利回り」(36.8%)でした。続いて「配当の有無」(33.6%)、「株主優待の内容」(30.7%)が上位に挙がり、株式を保有することで得られるメリットを重視する傾向が明らかになりました。一方で、「株価の割安感（PER・PBR等）」(26.3%)や「株価上昇への期待」(26.3%)といった値上がり益を意識した回答も一定数見られました。

4.期待する株主還元では「配当利回り3%以上」が31.3%で最多



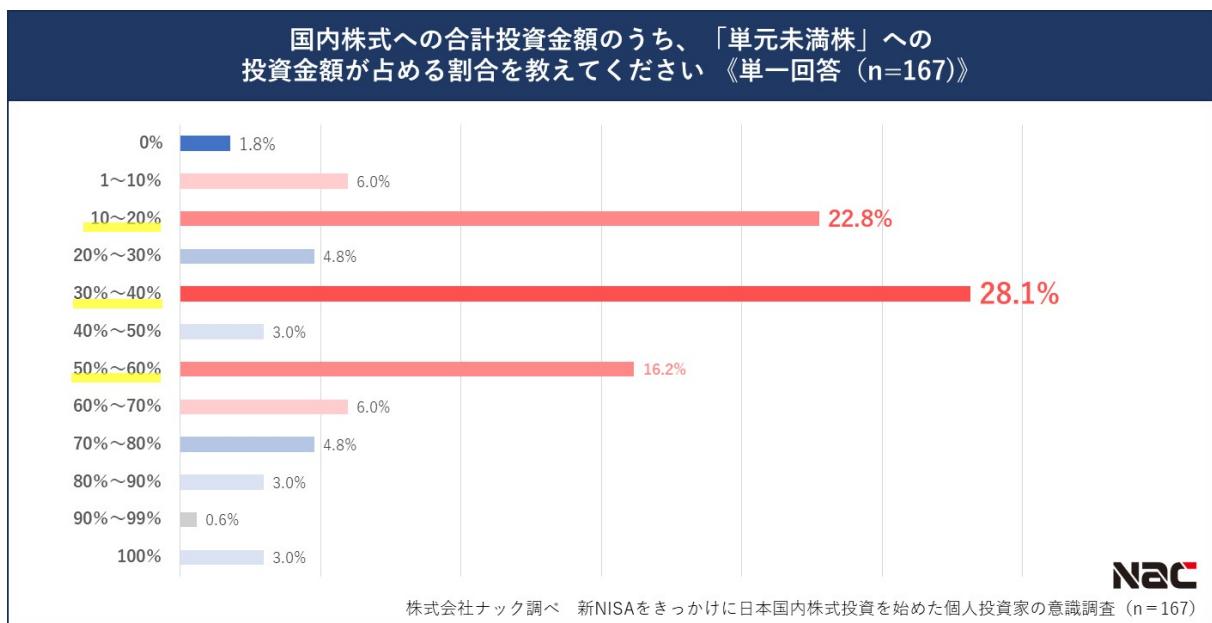
最も多かった回答は「配当利回り3%以上なら投資対象」(31.3%)でした。また、「配当と優待があること」(13.7%)、「株主優待があること」(7.6%)を重視する層も一定数存在しています。一方で、「株主還元は判断基準ではない」と回答した人は10.2%にとどまり、多くの個人投資家が一定の還元基準を持って銘柄選定を行っていることが明らかになりました。

5. 単元未満株の購入経験「あり」は全体の48.8%と約半数におよぶ結果に



新NISAをきっかけに国内株式投資を始めた個人投資家の約半数となる48.8%が「単元未満株」を購入したことのあるという結果になりました。

6. 単元未満株への投資金額が占める割合は「30~40%」が28.1%で最多



単元未満株への投資経験がある人の合計投資金額のうち、単元未満株への投資金額が占める割合として最も多いのは「30~40%」で、全体の28.1%となりました。また、保有株式全てが単元未満株という回答も見られました。少額で複数銘柄に分散投資できる点が、新NISAとの相性の良さに繋がっていると考えられます。

調査結果を受けて

今回の調査結果から、新NISAをきっかけに国内株式投資を始めた個人投資家は、「将来の資産形成」を目的に、配当や株主優待などの安定的なリターンを重視しつつ、単元未満株を活用した分散投資を積極的に取り入れている実態が明らかになりました。また、期待する還元基準では「配当利回り3%以上」が31.3%で最多となつたほか、多くの個人投資家が一定の還元基準を持って銘柄選定を行つてることが分かりました。配当・優待という株式を保有することで得られるメリットを軸に、単元未満株も活用して分散と積み上げを図るという投資姿勢がうかがえる結果となり、新NISA制度の普及とともに、今後も国内株式市場における個人投資家の裾野拡大が期待されます。

株式会社ナックの株主還元（配当金／株主優待）

配当金

当社の利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、積極的に利益還元を行うことを基本方針としております。

配当方針は純資産配当率(DOE)4%かつ配当性向100%以内とし、中間・年度末の年2回配当を行つています。

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 (予想)
年間配当額（円）※	19	20	21	22	22
DOE（%）	3.9	3.9	4.0	4.1	—
配当性向（%）	49.9	44.9	63.2	69.1	49.7

（※）2024年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。

1株当たりの配当金については、当該株式分割調整後の数値を記載

株主優待制度

当社では、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資意欲を高め、より多くの株主の皆様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、「株主優待制度」を実施しております。

2026年は、所有株式数に応じて、当社グループで展開する化粧品ブランド「MACCHIA LABEL（マキアレイベル）」から、ヒット商品となっているファインバブルを取り入れた商品を贈呈いたします。

贈呈品 | 100株以上300株未満… ①

300株以上500株未満… ①②

500株以上…………… ①②③



贈呈時期 | 2026年7月上旬

① 薬用マイクロバブルローション（100ml） ② 薬用マイクロバブルローションつめかえ用（100ml） ③ 薬用マイクロバブルミルク（70g）

■ 詳細は株式会社ナックHP> 株式情報よりご確認ください <https://www.nacoo.com/ir/stock/>

Press Release

報道関係各位

Nac

2026年2月13日

株式会社ナック / 証券コード 9788

補足資料

■株式会社ナックについて <https://www.nacoo.com/>

当社は、1971年に株式会社ダスキンのフランチャイズ加盟店として創業して以来、「暮らしのお役立ち」を軸として、積極的な事業領域の拡大を行ってまいりました。2021年には創業50周年を迎え、現在ではダスキン事業を中核とするレンタル事業に加え、宅配水事業を展開するクリクラ事業、地場工務店の経営支援を行う建築コンサルティング事業、住宅事業、美容・健康事業と、「暮らし」と「住まい」に関わる幅広い領域において全国のお客様とダイレクトにつながりを持ち、さらなる成長を続けております。

会社概要

社名	株式会社ナック
設立年	1971年5月20日
資本金	6,729,493,750 円
代表者	吉村 寛
社員数	連結1,717名（2025年3月末現在）
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル42階
電話番号	03-3346-2111（代表）

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社ナック IR・広報室 担当：横山

TEL：03-3346-2870 / FAX：03-3348-4311 MAIL：irpr@nacoo.com